

令和4年度活動報告書

会 員 名	山形県			
活 動 名	酒田海洋センター企画展示「映像で振り返る酒田北港開発とこれからの酒田港」			
主 催 者	山形県及び山形県港湾協会			
報 告 者	所属	山形県港湾事務所	TEL	0234-26-5634
	氏名	所長 松田 茂 (担当者: 港湾振興室 小池宏平)	E-mail	
協議会以外の 共催・後援等	なし			
実 施 時 期	2022年10月～2023年3月 (フィルムのデジタル化等準備: 2022年10月～1月、企画展示: 2023年2月21日～3月19日)			
実 施 規 模	会場: 山形県酒田海洋センター 展示期間中来館者数: 約1,000人			
実施事業費	332,200円			
実 施 概 要	活 動 全 般			
	<p>【事業概要】 酒田港は、重要港湾として、昭和40年代後半の酒田北港開港、平成10年代前半の国際コンテナターミナルの整備と大規模プロジェクトの遂行により発展を続けてきた。現在は、国が掲げる「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた新たな局面を迎えており、洋上風力発電設備の設置や維持管理の拠点となる「基地港湾」指定を目標に掲げ、沖合での洋上風力発電事業を柱とするカーボンニュートラルポートの形成に向けた取組みを推進することとしている。 この大規模プロジェクトについては、官民あげて機運を盛り上げていく必要があり、そのためには、これまで港湾整備に尽力してきた先人の強い意志を引き継いでいかなければならないと考えている。 そこで、酒田海洋センターにおいて、昭和40年代後半から昭和50年代前半にかけて行われた酒田北港開発の様子を記録した映像や、今後の酒田港の将来像について企画展示を行うことにより、港湾整備に対する県民の理解促進と今後の港湾整備についての機運醸成を図ることを目的に標記企画展示を実施した。</p> <p>【具体的な取組み】 ・海洋センターに所蔵している昭和40年代後半から昭和50年代前半にかけての酒田北港開発の様子を記録した映像フィルムをDVD化し、企画展示「映像で振り返る酒田北港開発とこれからの酒田港」の中で上映することにより、港湾整備に対する理解促進を図った。 ・DVD化した映像フィルムは、16mmフィルム8本で、酒田北港建設に関する記録映像である。 ・更に、20～30年先を見据えた酒田港の将来像として「酒田港中長期構想」のパス図等をパネル展示した。</p>			
	<p>他の会員の参考となる新しい試み等</p> <p>他の会員も港湾整備に関する多くの映像資料を所蔵していると思われるが、それらを利活用することはあまりなかったと思われる。過去の映像資料を有効活用することで、今後の港湾整備への理解増進につなげる点が新しい試みといえる。</p>			
実施にあたり苦労した点 (今後他の会員が実施する 上で注意する点)	映像上映で使用したフィルムは、昭和40～50年代に山形県が企画し地元放送局に製作を依頼したもので、既に製作から40～50年が経過しており、当時の契約書が残っていなかった。そのため、契約関係が不明確で、映像上映に際しては、製作者から改めて許可をとる必要があり、相手方とのやり取りに時間を要した。			
参加者の反響 (参加者の声)	「当時の映像を見ることができて大変懐かしかった」、「中長期構想があることを初めて知った」などの声が聞かれた。			
活動に対するPR内容	関係施設へのポスター及びチラシの設置、山形県港湾事務所SNSへの掲載、セミナー等でのチラシの配布			
マスコミ等の反響	特になし			
実施状況写真	別紙のとおり			

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク 令和4年度活動報告

山形県酒田海洋センター企画展示

「映像で振り返る酒田北港開発とこれからの酒田港」

山形県（港湾事務所）



事業の目的と概要

企画展の目的

港湾整備に対する県民の理解促進と今後の港湾整備についての機運の醸成を図ることを目的に企画展示を実施。

企画展の概要

- ・山形県酒田海洋センターに所蔵している酒田北港開発(昭和40～50年代)の16mmフィルムの記録映像をデジタル化し、上映。
- ・一般にはなじみが薄い「酒田港中長期構想」のパース図等をパネル展示。

フィルムのデジタル化

- ◆ 実施時期: 令和4年10月～令和5年1月
- ◆ フィルム : 昭和40年代から50年代にかけて行われた酒田北港開発の様子を記録した16mmフィルム8本

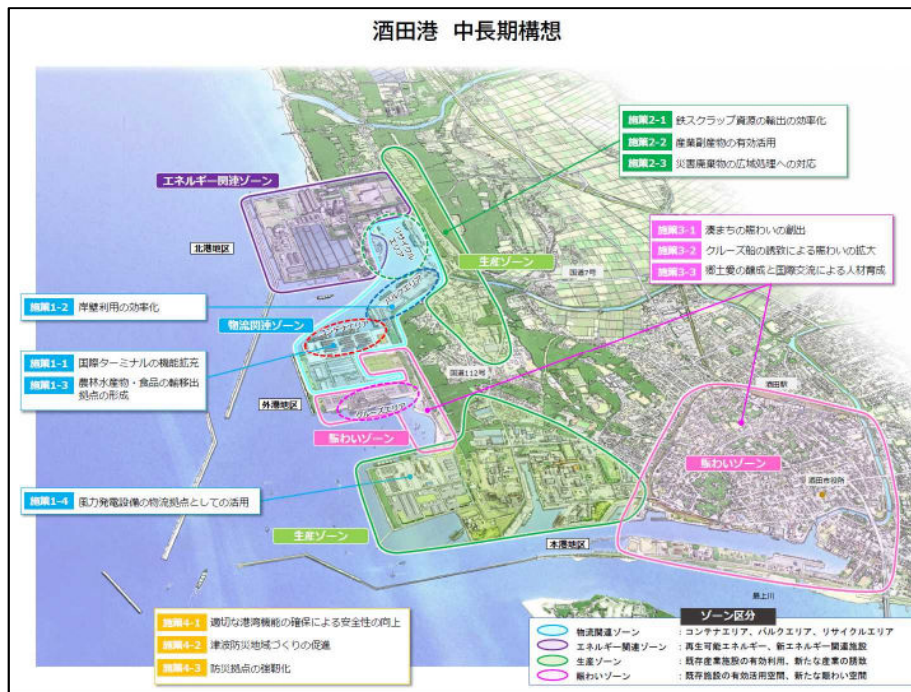


フィルムのデジタル化



パネル展示内容

- ◆ 酒田北港開発の説明パネルの展示
- ◆ 「酒田港中長期構想」を説明入りでパネル展示



酒田港中長期構想



施策別説明パネル



企画展示 実施状況

◆ 実施時期

令和5年2月21日

～令和5年3月19日

(うち開館日24日間)

◆ 実施場所

山形県酒田海洋センター

◆ 期間中来館者数

1,483人



映像で振り返る 酒田北港開発とこれからの酒田港



令和5年
2月21日(火) ~ 3月19日(日)

場 所 山形県酒田海洋センター
〒998-0036 酒田市船場町二丁目5番15号
Tel.0234-26-5642
開館時間 午前10時から午後5時まで
入館料 無料
休館日 月曜日(祝日の場合は開館)



PORT OF SAKATA®



PORT OF SAKATA®

企画展示 実施状況



まとめ

◆ 来館者の声

- ・当時の映像を見ることができて大変懐かしかった。(地元の方)
- ・中長期構想というものがある事を初めて知った。(観光客の方)

など

◆ フィルムのデジタル化

→ 今後も酒田海洋センター内で上映・展示することが可能。

◆ 企画展の反省点

高齢の方からの反応はあり。若年層からの反応が少なかった。

→ 展示方法の工夫が必要。